

「健康経営」に関する意識調査

平成 30 年 4 月

江 別 市

江別商工会議所

[目次]

I	調査の概要	1
1	調査目的	
2	調査方法	
3	調査時期	
4	調査対象数	
5	回答数	
6	集計上の留意事項	
7	その他	
II	調査結果	
1	認知度について	2
2	関心度について	3
3	「健康経営」を進める上での期待について	4
4	「健康経営」に向けた取組実績について	5
5	具体的な取組内容と成果について	6
6	今後の取り組みの意向について	7
7	希望する具体的な取り組みについて	7

I 調査の概要

1 調査目的

- ・従業員の健康管理を経営的視点として取り組む「健康経営」は、企業にプラスの効果をもたらすものとして、積極的に取り組む企業が増えています。
- ・江別市では、すべての市民が生涯を通じて健康に過ごせる健康意識の向上と健康づくりを推進するため、昨年4月に「健康都市」を宣言しました。
- ・宣言に掲げた内容を実現するためには、市内の企業で働く人々に対する取り組みも大切であると考えています。
- ・このため、江別市と江別商工会議所は、市内企業を対象に従業員の健康づくりについての取組状況などに関する意識調査を実施しました。

2 調査方法

郵送により調査票を送付し、FAXにより回収

3 調査時期

平成30年2月～3月

4 調査対象数

江別商工会議所会員企業のうち828社

5 回答数

136社（回答率16.4%）。うち有効回答135社

[業務分類]

製造業（31社）、建設業（30社）、卸売・小売業（26社）、運輸・通信業（4社）、金融・保険業（6社）、サービス業（38社）

[従業員数（パート等含む）]

10人以下（53社）、11～50人（40社）、51～100人（11社）、101人以上（12社）、未記入（19社）

6 集計上の留意事項

- ・集計値は、原則として回答数の合計を100とした場合の構成比で、小数点第2位以下を四捨五入した値で示しています。このため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・なお、属性（業種）などによってはサンプル数が少ないものがあるため、集計結果をみる際には、そのことに留意する必要があります。また、設問によっては、集計結果そのものを省略しているものがあります。

7 その他

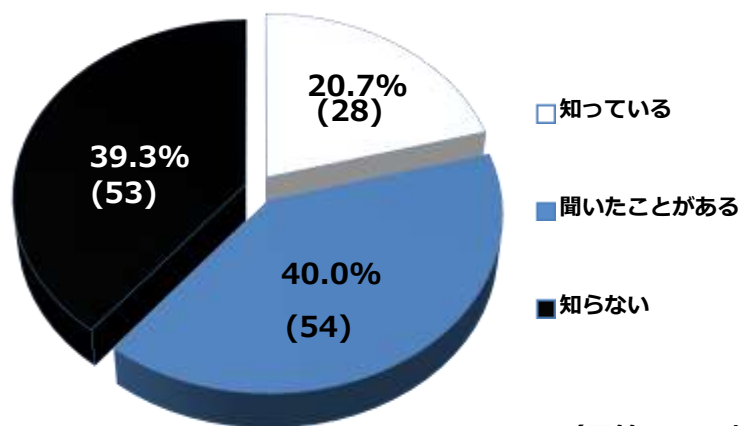
- ・今回の調査では、事前に「健康事業所宣言（全国健康保険協会北海道支部）」及び「健康企業宣言運動（北海道商工会議所連合会）」についてのPRパンフレットに目を通していただいた上で、回答していただいています。

II 調査結果

1 認知度について

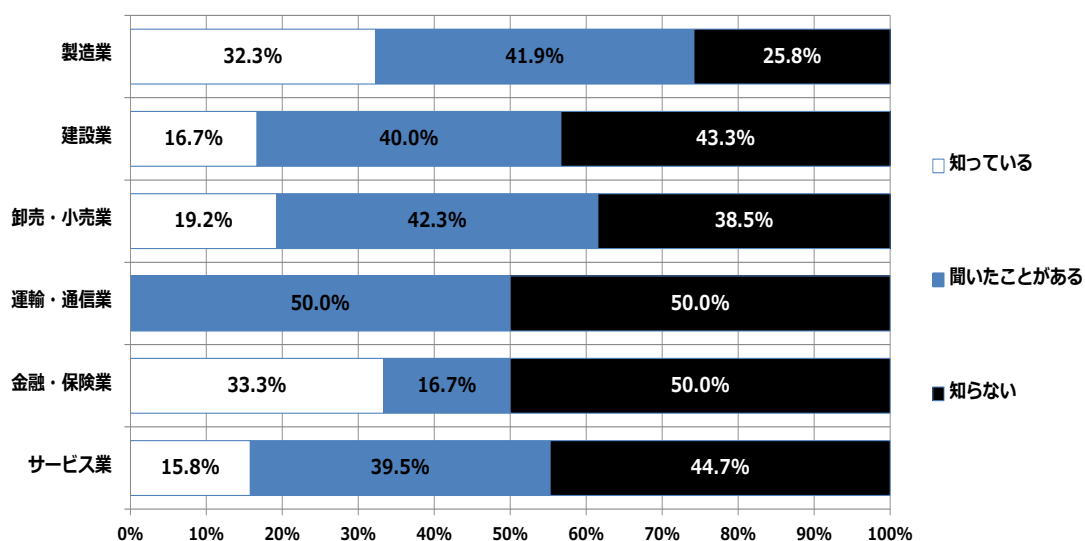
- ・設問1では「健康経営という言葉をご存知でしたか」としています。
- ・従業員の健康管理を経営的視点として取り組む「健康経営」についての質問に先立ち、はじめに「健康経営」についての認知度についてたずねました。

- ・全体の60.7%が「知っている」、「聞いたことがある」としているものの、残りの39.3%は「知らない」となっています。



(回答：135社)

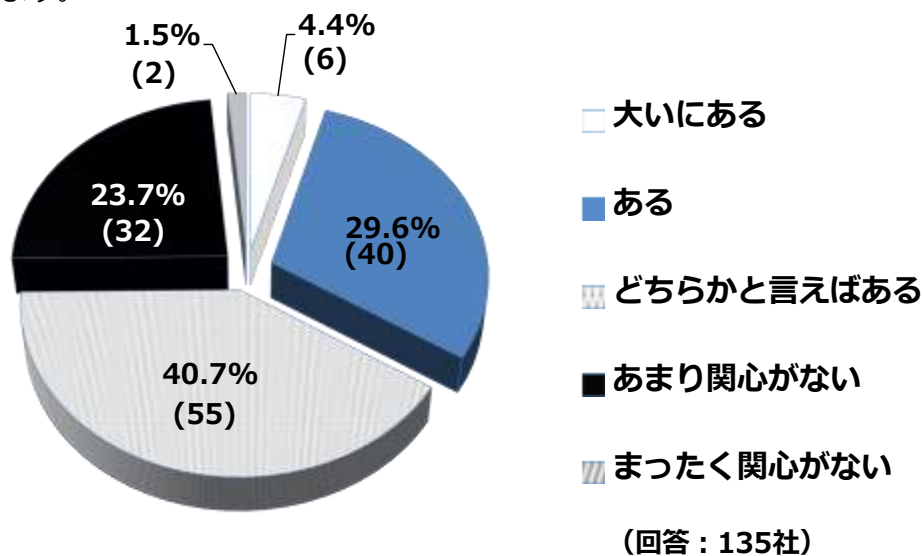
- ・全ての業種の50%以上が「知っている」、「聞いたことがある」とし、なかでも製造業の認知度が高くなっています。



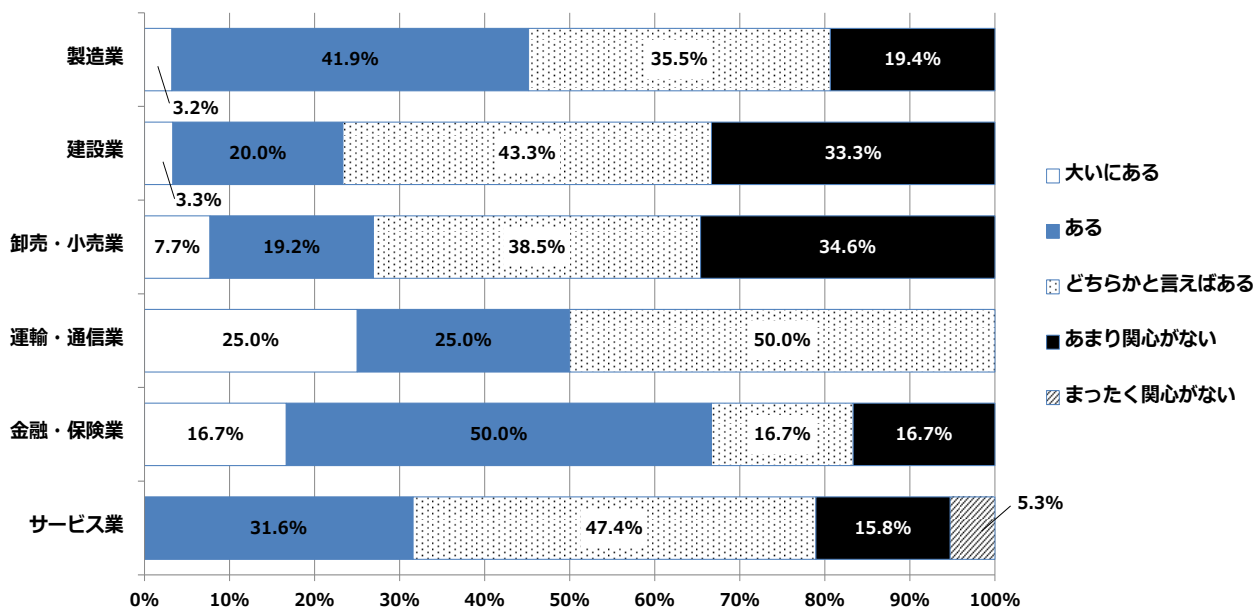
2 関心度について

- ・設問 2 では「健康経営に関心がありますか」としています。
- ・「健康事業所宣言」等の P R パンフレットで紹介されている取組事例とその効果などを参考に、「健康経営」についての関心度についてたずねました。

- ・「大いにある」が 4.4% (6 社)、「ある」が 29.6% (40 社)、「どちらかと言えばある」が 40.7% (55 社) と、健康経営についての関心を持っている企業が全体の 74.8% (101 社) となっています。



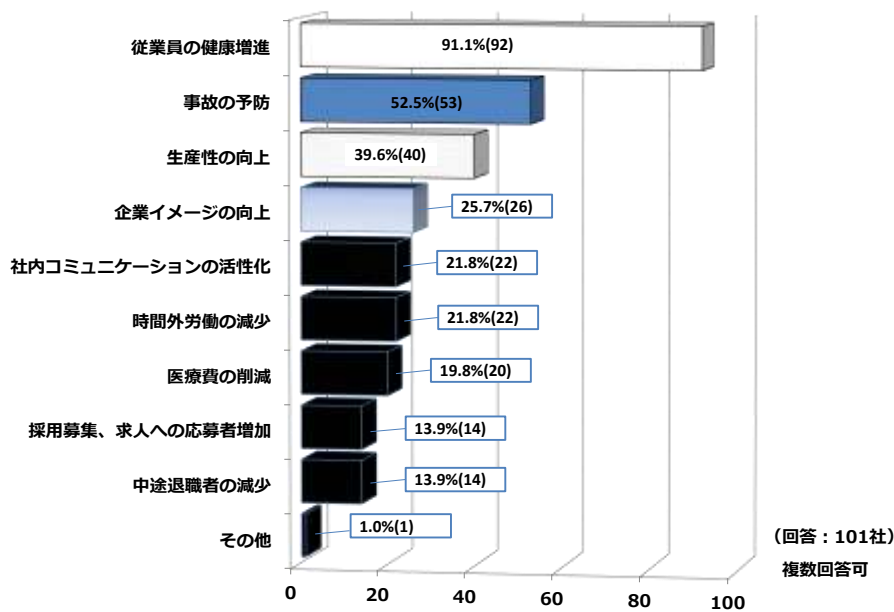
- ・全ての業種の 65%以上が関心を持っている（「大いにある」、「ある」、「どちらかと言えばある」）としています。



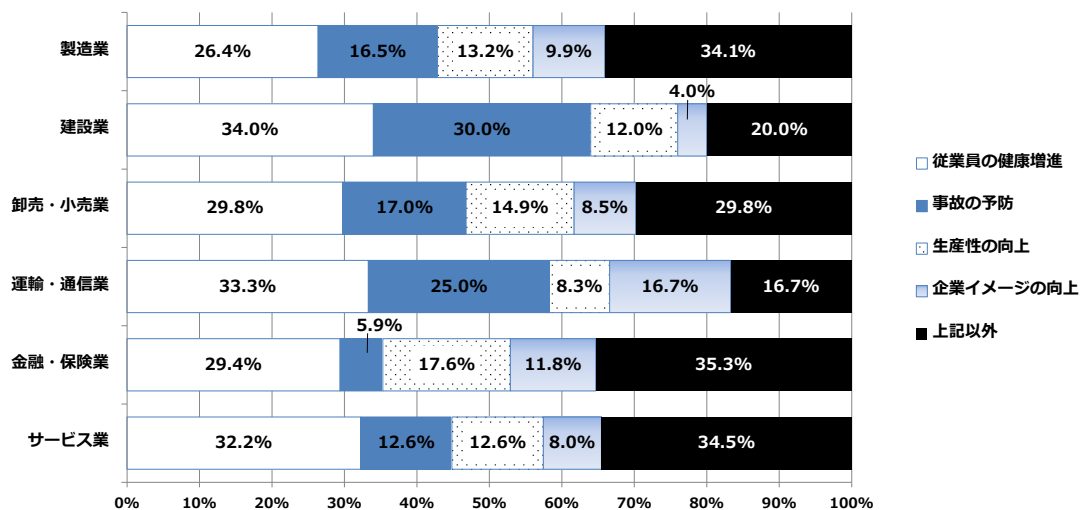
3 「健康経営」を進める上での期待について

- ・設問3では「健康経営を進める上で、具体的にどのようなことを期待しますか」として
います。
- ・この設問は設問2の「健康経営の関心」について、『大いにある』、『ある』、『どちらかと
言えばある』のいずれかに回答した企業を対象に、健康経営に取り組むことで、具体的
にどのような効果を期待するかをたずねました。

- ・「従業員の健康増進」が91.1%（92社）と最も高く、次いで「事故の予防」が52.5%（53社）、「生産性の向上」が39.6%（40社）、「企業イメージの向上」25.7%（26社）と続いています。



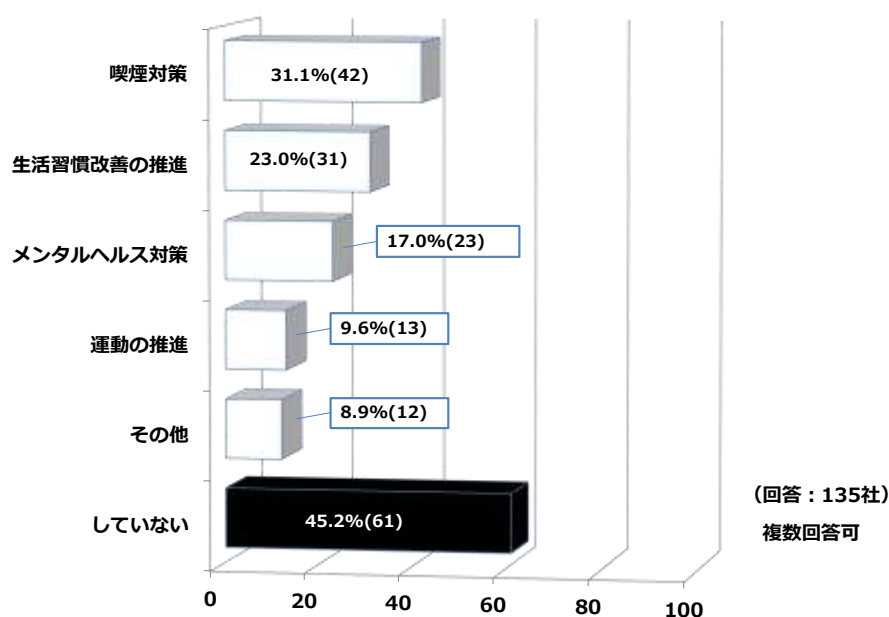
- ・全ての業種で「従業員の健康増進」、「事故の予防」、「生産性の向上」、「企業イメージの向上」
についての効果を高い割合で期待しています。



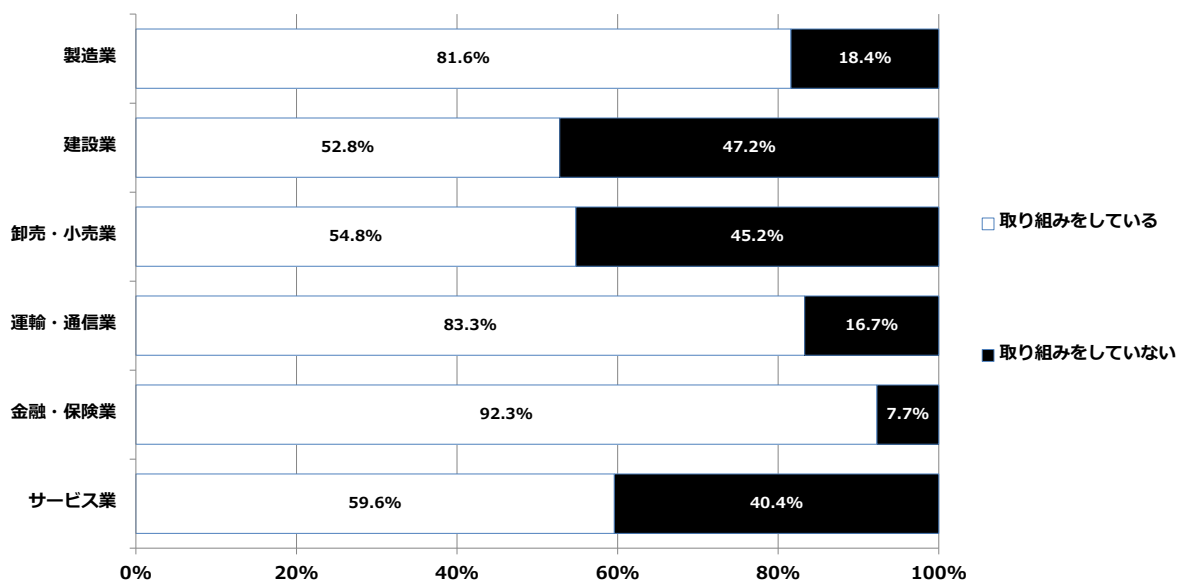
4 「健康経営」に向けた取組実績について

- ・設問4では「健康経営に向けた取り組みを実践していますか」としています。
- ・この設問では、健康経営を進める上で、現在、会社として何かに取り組んでいるのかどうかをたずねました。

- ・「禁煙対策」が31.1%（42社）、「生活習慣改善の推進」が23.0%（31社）、「メンタルヘルス対策」が17.0%（23社）など様々な取り組みをしている一方で、45.2%（61社）が「していない」としています。



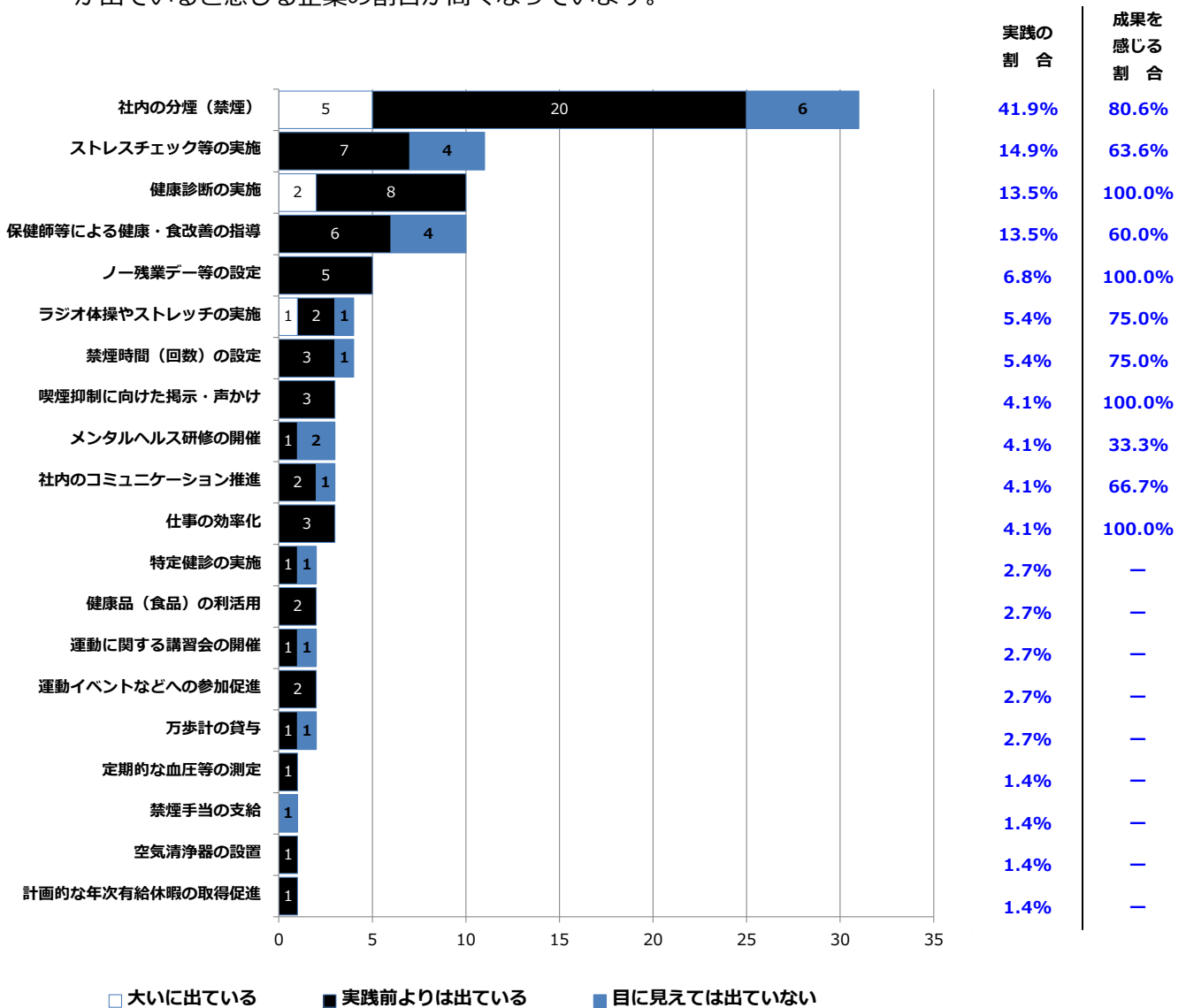
- ・製造業、運輸・通信業、金融・保険業では、何らかの取り組みを実践している割合が高くなっています。



5 具体的な取組内容と成果について

- ・設問5では「具体的にどのようなことを実践していますか」としています。
- ・この設問では設問4で「取り組みの実践をしている」と回答した企業を対象に、どのようなことに取り組んでいるのか。また、その成果が出ているかをたずねました。

- ・「社内の分煙（禁煙）」が41.9%（31社）と最も高くなっています。次いで「ストレスチェック等の実施」が14.9%（11社）、「健康診断の実施」と「保健師等による健康・食改善の指導」がともに、13.5%（10社）となっています。
- ・また、取り組みの成果としては、「健康診断の実施」や「ノー残業デー等の設定」などで成果が出ていると感じる企業の割合が高くなっています。



（回答：74社）

複数回答可

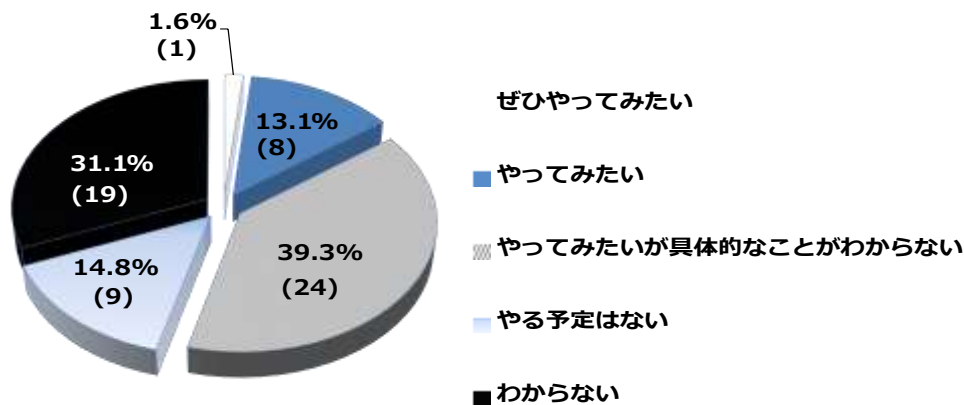
※実践の割合 : (具体的な取り組みの数) ÷ 74 (回答数) × 100

成果を感じる割合 : (「大いに出ている」 + 「実践前よりは出ている」) ÷ (具体的な取り組みの数) × 100

6 今後の取り組みの意向について

- ・設問6では「今後、健康経営に向けた取り組みをしてみたいと思いますか」としています。
- ・この設問では設問4の「取り組みの有無」で『していない』と回答した企業を対象に、今回の調査を通じて、「健康経営」に向けて新たに実践してみたいと感じたかどうかをたずねました。

- ・実践してみたい（「ぜひやってみたい」、「やってみたい」、「やってみたいが具体的なことがわからない」）と感じているのが全体の54%（33社）となっていますが、このうち、「やってみたいが具体的なことがわからない」とする割合が高くなっています。

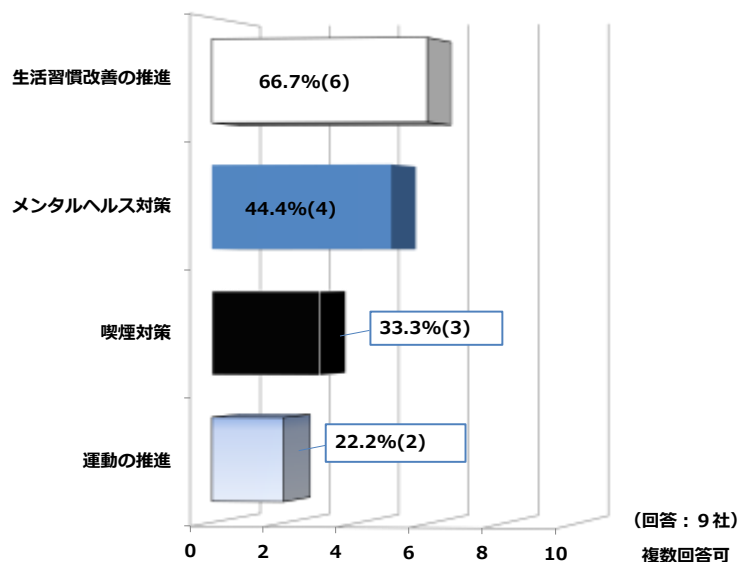


(回答：61社)

7 希望する具体的な取り組みについて

- ・設問7では「どのようなことをやってみたいと思いますか」としています。
- ・この設問では設問6の「取組をしてみたいか」で『ぜひやってみたい』または『やってみたい』と回答した企業を対象にどのようなことに取り組んでみたいかをたずねました。

- ・「生活習慣改善の推進」が66.7%（6社）と最も高く、次いで「メンタルヘルス対策」が44.4%（4社）、「喫煙対策」が33.3%（3社）となっています。



(回答：9社)

複数回答可